

形成外科・美容外科

がん けん か すい

眼瞼下垂治療

16 診
予約制

目は顔のパーツの中で最も印象が大きく、少しの変化で大きくイメージが変わります。
目の開きが悪くなると眠そうに見え、時に肩こりや頭痛の原因となる事もあります。

担当

廣瀬 雅史 医師



予約制

形成外科 月・水・金
8:30～12:00

眼瞼下垂による肩こりや頭痛は、

まぶたを挙げることで改善が期待できます。

具体的には、局所麻酔をしてまぶたの数mm上を切開し、緩んだ『まぶたを挙げる筋肉（眼瞼挙筋）』を元の位置に戻して、瞼板という硬い組織に縫合する手術を行います。手術は目の開き具合を確認する時を除き、目を閉じた状態で行います。二重の人は二重を作成して縫合します。皮膚の余剰が多い場合は、眉毛のすぐ下の皮膚を切除する方法もあります。

この治療法は傷跡が殆ど目立たず、翌日から洗顔・アイメイク以外のメイクが可能です。1週間後に抜糸を行います（アイメイクは抜糸後可能）。術後の腫れがひいた後は、目がぱっちり開き、視界も広がるため大半の方に「やって良かったな」と思っただけの手術です。形成外科外来までお気軽にご相談ください。症状によっては、自費診療（美容外科）となります。

施術時間	片側 45分
痛み	麻酔時の痛み 施術後、時々チクチクする程度
術後の症状	3日～1週間強い腫れ 完全消失まで約1～2ヶ月



まぶたのたるみでお困りの方、お気軽にご相談ください。



社会医療法人 全仁会

倉敷平成病院

予約専用

(予約受付 月～金/8:30～17:00 土/8:30～12:00)



086-427-1140